

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		中学1年 平成28年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																
			目 標	(1) グローバル人材育成のための土台として、基礎学力の向上、学習意欲の喚起などを行っていく。															
				(2) 生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を持てるような授業作りに取り組む。															
				(3) 実践的英語力を育成するための土台を構築する。															
			達 成 方 法	(1) わかばやmanabaを活用することにより、学習のスケジュール管理を行っていく。ガイダンスや授業を通して学習法について積極的にアドバイスを行う。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行う。すららを活用することで全員が基礎事項を定着できる状態にする。															
				(2) タブレットを活用した授業展開により、授業内でのアクティブラーニングを積極的に取り入れ、思考・協働学習・意見発表の機会を積極的に用意する。そのことにより学習内容に対する興味を持たせ、自ら学習する気持ちを持たせる。															
		(3) 全体の学習の中でも、進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科だけでなく学年の取り組みとして英語力向上のための機会を用意していく。																	
		項目3	②「生きる力育成に向けて」																
			目 標	(1) 「7つのルール」の徹底を通して、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。															
				(2) 道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。															
				(3) 基本的な生活習慣に関して徹底させる。															
			達 成 方 法	(1) 事あるごとに「7つのルール」を確認し、その上で時期ごとの生活達成目標を設定する。丁寧な対面指導を心がけ、自らルールを守れるような環境作りに努める。															
				(2) 道徳とピアサポートに関して、カリキュラムに則り全クラスで共通の指導ができるように心がけ、豊かな心を養うよう努める。活動したものにっては必ず振り返りを行うことで自分の経験として蓄積させていく。															
(3) 「あいさつ」「遅刻防止」「校内美化」に関しては学年全体で徹底的に指導していく。																			
項目5	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
	目 標	(1) 「開かれた学校」を目指すため、積極的な情報発信を行っていく。																	
		(2) 2020年問題に対応すべく、教育環境の革新を行っていく。																	
	達 成 方 法	(1) 学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して積極的な情報発信を行っていく。																	
(2) タブレットを入学時点から導入する学年として、新しい教育スタイルに挑戦し続けていき、2020年の入試改革に対応できるようにする。																			
		項目1		項目3		項目5													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード／平均		4.0	3.1	3.9	2.9	3.8	3.3												
1		4	3	3	3	3	4												
2		4	3	4	3	4	3												
3		4	3	4	3	4	3												
4		4	3	4	3	4	4												
5		4	3	4	3	3	3												
6		4	4	4	3	4	4												
7		4	3	4	2	4	2												
8		4	3	4	3	4	4												
9		4	3	4	3	4	4												
10		4	3	4	4	4	4												
11		4	3	4	3	4	2												
12		4	3	4	3	3	3												
13		4	3	4	2	4	3												

<取組状況、次年度への課題など>

3つの重点目標に対し、学年の教員が全員重要度が高いと考えており、方向性の共有がなされている。目標設定自体に関しては妥当であった。達成度に関してもある程度は達成できたと考えているが、更なる達成を目指して継続して取り組んでいく必要がある。

①学力向上…英語を中心とした取り組み、課題や家庭学習における教科バランスの考慮など、教科と連携を取りながら学年としても対応することができた。今後も更なる学力向上を目指し、授業を第一とした取り組みを行っていく。この点に関しては、検定試験および学力推移調査での成果で測っていく。

②生きる力育成…生活習慣を確立すること、校則や生徒指導方針を守ることを目的とし、学年集会などで「何故そのルールが必要なのか」を説明しながら指導してきた。概ね安定した生活をしてきたが、中学2年生に向けて更に丁寧に指導することが必要となるので、継続していきたい。

③学校教育環境…学年の情報に関してクラスで差が出ないように、学年通信と学年進路部通信にて情報発信を積極的に行い、合計50号以上の通信を発行した。今後は連絡事項だけでなく、学年の状況や進路実現に向けた情報なども発信していきたい。また、タブレット環境に関しては更に稼働率を上げながら効果的な学習につなげていくよう努めたい。

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

中学2年 平成28年度重点目標																
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」														
		目標	将来の夢や希望について考えるように促し、その実現をはかるために学習意欲を高め、学力の向上を目指す。													
		達成方法	環境学習旅行や街歩きなどを通して、自然や働く人たちとの接触など色々な経験をすることにより、豊かな人間性を高めると共に、将来の進路について考える機会を設ける。 自分の夢や希望を実現するために、また、大学入試改革に備えて、具体的な学力の到達目標を生徒に定めさせ、学力向上の意欲を高める、 中学一年時に実施した妻中義塾やSHR小テストなどを継続すると共に、授業に対する集中力とすららを利用した自宅学習を習慣化し、定着させる。													
	項目3	②「生きる力育成に向けて」														
		目標	中学生らしく元気に自主性を持った行動を身につけさせる。 他者への思いやりのある生徒に育てる。 社会の責任ある一員として、「7つのルール」を基盤とした決まりや社会マナーを守る規範意識を定着させる。													
		達成方法	生徒の自主的行動を尊重すると共に、ピアカウンセリングなど、大妻中野で学ぶ仲間として協調性、連帯感を持ち、思いやりの心を持って他者に接することが出来るような寛容な精神をそだてるべく、あらゆる機会をとらえ、繰り返し教育をしていく。 多面的な人間性を養うために、部活動や学校行事への積極的な参加を促す。 学校などの集団や社会がひとりひとりの自制心やルールの遵守を前提として成り立っていることを理解させる。 校内においては挨拶の励行、校則の遵守、また通学時など校外においては法の遵守はもちろん、交通道徳を守るなど、社会の一員として基本的行動を習慣化するよう指導を徹底する。													
	項目5	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」														
		目標	「開かれた学校」を目指し、保護者会への情報公開を進めてよりよい相互理解、連携を深める。													
		達成方法	タブレットやHPを利用し、学級通信、学年通信、進路通信などを送信し、学年の動きに対する理解度を高めるようにする。 保護者会を通じ、大学受験の変化状況や学校での取り組みなどを発信し、相互理解と連携を深める。 街歩きを通して、生徒と地域社会との相互理解を深める。													
		項目1		項目3		項目5										
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
	部署コード／平均	4.0	2.5	3.9	2.5	3.3	2.4									
1	4	2	4	2	4	2										
2	4	1	3	1	3	1										
3	4	2	4	3	3	3										
4	4	3	4	3	4	3										
5	4	2	4	3	3	3										
6	4	4	4	3	3	3										
7	4	3	4	3	3	2										
8	4	2	4	2	3	2										
9	4	3	4	3	3	3										
10	4	3	4	3	3	2										
11	4	2	4	2	4	2										

<取組状況、次年度への課題など>

重点目標の学年での共有は出来ている。

1 学力向上に向けて

学年当初、自主的な学習に取り組む姿が見えない生徒がいる状態であったが、SHRでの小テストをくり返し行うことで、基礎力の向上をみることができた。3学期は放課後補習や妻中義塾の改善などを図って学力向上を図っている。「すらら」での自主学習計画については、wifi環境・操作しにくさなど 物理的な問題などもあり、思ったほど効果が上がらないものだった。次年度は「サブリ」を上手に利用しながら着実な学力を身につけさせたい。

2 生きる力育成に向けて

生徒によっては、授業中の自制心、ルールの遵守ができない状態が長く続いてしまった。対象生徒の面談だけでなく、2学期末のアンケート、集会での注意などの助力をいただき、3学期はかなりの改善を見ている。これからもしっかりと学習に取り組ませるよう、気を緩めずに指導を続けたい。

3 学校教育環境整備と質向上に向けて

「街歩き」による地域社会との連携は、従来の実施時期とイングリッシュキャンプの日程とが重なったため中止となった。そのため、生徒の中野に対する愛着、関心は従来ほど高まっていないと思われる。来年度の「職場体験」では準備をしっかりと行い、実現していきたい。

一方、進路ガイダンスを保護者用に行ったり、通信や課題、アンケートなどを生徒にタブレットを使って送信するなど、情報の共有化を図ることができた。

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

中学3年 平成28年度重点目標													
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」											
		目標	将来の進路や目標を具体的にイメージすることで、学習意欲の向上を図る。										
			グローバル社会で活躍できるように英語力や問題解決力を育成する。										
			ICTなどを活用し、自ら学ぶ意欲を持ち、学習習慣を向上させる。										
		達成方法	進路ガイダンスや職場体験などを通して、自分の将来や希望を考える機会を設け、その実現のために必要な学習目標を定め、学習意欲の向上を図る。										
			学年全体での英語力向上と、平和学習やEnglish Camp、フロンティアの活動など様々な形で自ら考え、表現・発信できる力を身に付ける。										
	ICTを用いた学習、毎週のMMT、妻中義塾、補習など、あらゆる側面から学習習慣の向上と学力向上を図る。												
	項目3	②「生きる力育成に向けて」											
		目標	「7つのルール」と「日常の五心」の実践を図る。										
			自分をよく知り、自己肯定感を高め、他者への理解を深める。										
			学校行事へ積極的に参加し、最後まで諦めずに取り組む。										
		達成方法	社会人としても必要である「7つのルール」や「日常の五心」を実践する。また、「挨拶」、「校内美化」、「遅刻防止」など、常に下級生の模範となるよう意識させる。										
一人ひとりが達成感を持てるように手助け・声掛けをする。また、道徳やピアサポートなどを通して、他者との相互理解を深め、思いやりの心を持って接することができるようにする。													
学校生活や行事などを通して、最後まで諦めずに努力することの大切さを培えるようにする。													
項目5	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」												
	目標	開かれた学校の目指し、保護者との相互連携を図る。											
		学級通信、進路通信、学年通信、保護者会などを通して保護者へ情報発信し、相互理解と連携を深める。											
項目1		項目3		項目5									
重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度								
部署コード／平均	3.8	2.9	3.9	3.1	3.7	3.2							
1	4	3	4	3	3	3							
2	4	3	4	4	4	3							
3	2	2	3	2	3	3							
4	4	3	4	3	4	4							
5	4	3	4	3	4	2							
6	4	3	4	3	4	3							
7	4	3	4	3	4	3							
8	4		4		4								
9	4	3	4	3	3	4							
10	4	3	4	3	4	3							
11	4	3	4	4	4	4							
<取組状況、次年度への課題など> 3つの重点目標については、学年での重要性は共有が出来ている。 1. 様々な学校行事を通して、将来のことや進路、学習の動機づけをすることは出来たが、主体的に学習する姿勢がまだ不足している。また英語力の向上を掲げていたが、結果として現れていないので、取り組み方に課題が残った。タブレットを用いた学習や小テストの実施が継続利用できる仕掛けも必要である。これについてはタブレットの故障も含め、運用・環境面での課題が残った。 2. 生活面は中3ではまだ中だるみの時期もあり、気になる生徒については学年で情報をしっかり共有し、様子を見る事が出来た。しかし、一人ひとりを見てみると規範が低い生徒もいるため、引き続き指導をしていきたい。 3. 保護者との情報共有は概ね出来ていた。しかし、タブレットを用いた発信は積極的に利用できなかったため、今後の課題である。													

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		高校1年 平成28年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	項目1	①「学力向上に向けて」																	
		目標	GLCクラス:TOEFLiBTスコア75(α)、57(β)を目指す アドレベルの知識定着を目指す。																
		達成方法	学年小テスト(英・数・国)の実施:毎週実施																
			Ichi-go programの実施:火曜日と木曜日の放課後(15:15~15:30)に模試対策(アドクラス)をおこなう																
			MMTの活用 到達目標の設定と自己分析の強化 日々の授業を大切にする																
	項目3	②「生きる力育成に向けて」																	
		目標	7つのルール of 徹底により、他者を思いやる心を育成し、「人のために生きる」価値と喜びを感じられるようにする。 クラス種別を問わず、英語力、プレゼンテーション能力を向上させる。 「与えられる人」から「自ら考えて行動する人」になれるように意識を向上させる。																
		達成方法	委員会活動や係活動にやりがいを持たせる。 マナー、モラルを重視し、中学時と同様に指導する。マナーやモラルは、人の生き方・生き様に直結してくることをLHR等で理解させる。 授業内で発表の機会を計画的に設ける。 今、何をすべきなのかを常に考えさせる機会をもつ。																
			③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																
			目標	タブレットを有効活用し、多様な教育方法を提供する。															
達成方法	manaba、ロイノートを授業以外でも有効活用し、稼働率を高める。																		
		項目1		項目3		項目5													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		3.8	2.9	3.7	2.7	3.4	3.0												
1		4	3	4	3	3	3												
2		4	3	4	3	3	4												
3		4	3	4	3	4	3												
4		4	2	4	2	4	3												
5		3	3	3	3	4	3												
6		3	2	3	2	3	3												
7		4	2	3	2	2	4												
8		4	4	4	3	4	2												
9		4	3	4	3	4	4												
10		4	3	4	3	4	3												
11		4	4	3	3	2	2												
12		4	3	4	2	4	2												
<p><取組状況、次年度への課題など></p> <p>重点目標の重要度については学年全体で共有できている。 学力向上に関しては小テストや放課後の模試対策(15Program)の効果がみられたが、現在は「やらせる」勉強は主となっており、自発的な学習を促す仕組みの整備と、それができる知識量を確保させることが課題である。 生きる力の育成に向けては、重要度は高いものの3つの重点目標の中では最も達成度が低い。モラルやマナー意識が高校生になって緩んでいるので、今後も指導が必要である。また、勉強に限らずさまざまな面において、人から「与えられる」ことになっており、与えられたものに関しては取り組むものの、自ら考えて行動する意識が非常に低い。この点を伸ばす対策を検討していく必要がある。 学校教育環境整備と質向上に向けては、タブレットの有効活用は達成度が高かった。しかしながら、タブレットの不具合が多く運用方法での課題もあり改善の余地は多い。</p>																			

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

高校2年 平成28年度重点目標														
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	項目1	①「学力向上に向けて」												
		目 標	生徒一人一人の偏差値を2年終了後までに+5を目標とする。											
			放課後延長学習を充実させる。											
			目標別ガイダンスを適宜実施する。											
		達 成 方 法	生徒自ら積極的に学習に取り組む、学習習慣・学習スタイルを確立させる。											
			・模試分析結果を学年で共有し、生徒個々の弱点を把握し、次の模試に備えさせる。											
	・集中して学習する習慣を確立させるための自学自習環境を提供する。													
	・国公立、早・慶・上・理、GMARCH、AO対策などの目的別ガイダンスを実施する。													
	・能率手帳「スコラ」の活用をガイダンスし、学習時間や日常生活を自ら振り返ることが出来るように指導する。													
	・「進路カルテ」を作成し、各個人が模試ごとに目標を設定し、目標達成のための具体的計画を考えさせる。													
	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目3	②「生きる力育成に向けて」											
			目 標	メリハリのある生活習慣の確立(自己管理能力の育成)させる。										
集団における自己責任能力の育成を目指す。														
グローバル化を想定した将来設計像の構築を促す。														
達 成 方 法		・生活指導の基本である「7つのルール」を再度確認し、徹底する。												
		・「常に前向きな思考を持つこと」が、2年後の進路決定や日常生活にプラスの影響を与え、												
	「悲観的な発言をすること」はマイナスの影響を与えることを再度理解させる。													
	・学年全体で学力が向上するための方法を、場面ごとに具体的に生徒に示す。													
・国際社会で通用する人材の育成のため、積極的にキャリア実現のための講習会の参加や留学などを薦める。														
項目5	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」													
	目 標	・保護者対象のガイダンスの充実をはかる。												
		・学年の活動や進路指導に関する保護者の理解と協力をいただけるように情報を提供していく。												
	達 成 方 法	・年3回の保護者ガイダンスを通して、本校の進路指導方針、及び現在の大学入試のあり方について具体的に提示する。												
・進路ニュースの充実を図る。														
・学校ホームページに学年通信・進路ニュースを随時更新していく。														
項目1		項目3		項目5										
重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度									
部署コード／平均	3.9	3.4	4.0	2.9	3.7	3.1								
1	3	2	4	2	3	3								
2	4	4	4	3	4	3								
3	4	4	4	3	4	3								
4	4	3	4	3	4	3								
5	4	4	4	3	4	4								
6	4	3	4	3	4	3								
7	4	3	4	3	4	2								
8	4	4	4	3	4	3								
9	4	3	4	3	3	4								
10	4	3	4	3	3	3								
11	4	4	4	3	4	3								

<取組状況、次年度への課題など>

項目1に関しては、予定通りに実施した。GMARCHを目指すための学習方法と入試傾向及び対策の冊子を2学期に発行し、その一週間後に希望者による大学別ガイダンスを1週間連続で企画した。その結果、参加した生徒のモチベーションは向上したように思えるが、参加を希望した生徒の総数が予想より少なかったことが残念に思える。また、「進路カルテ」の作成など学年に応じた進路企画は実施してきたが、「すべての生徒が受験に対して前向きに行動できるようになる」という事という目標は達成できなかった。その点に関しては学年教員全員の力不足として反省すべきことであり、目標達成の難しさを感じている。

項目3 生活習慣の確立に向けて、「朝8時20分に全員教室で自学する姿勢をとる」ということを目標とし、学年一丸となって取り組んできた。その結果、ほとんどの生徒は、8時20分には教室で自学自習を始めているが、欠席の生徒を除き、全員がそろって実施する事はいまだできていない。受験の本番に来年度に向けて、今年度に目標達成できなかったことは反省すべき点である。

項目5 保護者への情報提供は、進路ガイダンスや学年保護者会、進路通信・学級通信と学年通信の発行などを通しておこなった。来年度は、具体的な進路に関する作業が多くなるため、進路部が中心となり、作業手順に関する書類を作成するなどの共有と徹底に努めたいと考えている。

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

高校3年 平成28年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」													
		目標	最終学年としての自覚を持ち、進路実現に向かって最大限に努力をする。												
			基礎力を定着し、演習問題で応用力を身につける。												
			自ら積極的に学習に取り組む。												
		達成方法	授業の中で演習問題を実施し、模試や入試問題に対応できる力を養う。												
			延長学習を月～土まで実施し自学学習環境を提供する。												
	手帳スコラを活用し、学習時間を計画立てていくよう指導をする。														
	項目3	②「生きる力育成に向けて」													
		目標	基本的な生活習慣を維持し、学習環境を整えていく意識を常に持つ。												
			7つのルールを守り、自分を律して学校生活を送り、社会人としての基盤を作る。												
			人の意見を尊重し、また自分の意見を持ち、問題解決に努めるよう話し合うことができるようにする。												
			自分の目標を達成できる意志力と行動力を持つ。												
		達成方法	学校行事に積極的に参加し、生活のなかでけじめをつけて行動できるようにする。												
	登校時間の厳守、教室の美化に努め学習環境を整える。 校内での挨拶、始業時と終礼時の挨拶の徹底														
項目5	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」														
	目標	学年の活動や進路指導に対する保護者の理解と協力をいただけるよう、情報を提供する。													
		開かれた学校を目指し、相互理解を深め、連携を取っていく。													
		クラス間での情報の差がないように学年会での周知・徹底を図る。													
	達成方法	保護者会、保護者対象進路説明会の実施													
		学校ホームページ上での学年通信、進路通信の更新													
進路に関する指導の統制を図る。関係書類の確認と指導の徹底をする。															
項目1		項目3		項目5											
重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均	4.0	3.4	3.8	3.0	3.5	3.3									
1	4	3	4	3	3	3									
2	4	3	4	3	3	3									
3	4	4	4	3	4	4									
4	4	3	4	3	4	3									
5	4	3	4	3	4	3									
6	4	3	3	3	3	4									
7	4	3	4	3	3	3									
8	4	4	3	3	3	3									
9	4	3	4	3	4	4									
10	4	4	4	3	4	3									
11	4	4	4	3	4	3									
<p><取組状況、次年度への課題など></p> <p>1. 模試や入試問題に対応できる力を養うように模試の過去問題を「3050」という形で実施し、生徒は意欲的な姿勢で授業に取り組んでいた。また延長学習や3学期の登校学習で自学自習の環境を整え、多くの生徒が利用した。</p> <p>2. 生活面では学年全体で遅刻が多く、エレベーターを使用をやめないなどのだらしない点もあり、指導が徹底しなかったことが反省点である。</p> <p>3. 保護者への情報提供は、進路ガイダンスや学年保護者会、進路通信の更新や学級通信と学級通信の発行などを通しておこなった。また他大学指定校一覧も開示した。 進路に関する指導の統制は、進路部が中心となり実施し、作業手順に関する書類を作成するなどの共有と徹底に努めた。</p>															